いっぽいっぽ

令和７年度　通級指導教室おたより

１２月号

東小通級指導教室（あおぞら教室）
☎ 992−0049（東小代表）
993−4463（東小通級教室）
あおぞら①　土屋（つちや）　大（ひろし）
あおぞら②　本間（ほんま）　弥重（やえ）

通級保護者面談ありがとうございました。おうちでの様子と学校（通級・教室）での様子を共有し、今後の支援方法について確認することができ、有意義な時間となりました。面談で共有させていただいたことを今後の支援に生かしていきたいと思います。

シン東小になってからの初めての運動会が終わりました。運動会練習が始まった頃には、通級で不安な気持ちを話していた児童もいました。本番までいろいろな葛藤があったと思います。勝敗や結果だけではなく、いろいろな気持ちに折り合いをつけて、一生懸命取り組めたことが素晴らしいです。おうちの方の応援や励ましが、子どもたちの力になったことは間違いありません。応援ありがとうございました。

１２月・１月の行事予定

月	火	水	木	金
12/1	2	3	4	5
書き初め教室　６年 持久走自由参観週間	書き初め教室　５年 特６日課	書き初め教室　４年 特５日課	書き初め教室　３年 特５日課	特５日課
8	9	10	11	12
	社会科見学（３年）	トヨタ出前授業 午前５時間日課		クラブ活動（最終）
15	16	17	18	19
２学期通級最終週		保護者面談① 特５日課	保護者面談② 特５日課	保護者面談③ 特５日課
22	23	24	25	26
保護者面談④ 特４日課	保護者面談⑤ 特４日課	特４日課	２学期終業式 特４日課	冬休み開始！！
楽　し　い　冬　休　み				
1/5	6	7	8	9
冬休み最終日	３学期始業式			定着度調査 給食開始
12	13	14	15	16
㊗　成人の日	３学期通級開始			

＊１２月１７日から予定されている保護者面談は、「学級担任と保護者」の面談となります。

すべての支援環境の土台にあるもの

自分の脳だって暗示にかけられる　脳はポジティブな言葉を栄養にしたがる
生徒たちはポジティブな言葉を欲しがっている

ポジティブなワード　ポジティブな精神風土　ポジティブなオーラ

おはよう	こんにちは	さようなら
ありがとう	いいねえ	うれしいなあ
いっしょにやろう	うまくいってるね	えんりょしないで
思いつく限り言ってみようか	さあいこう	いっしょにやってみようか
どうしたらいいと思う？	何しようか	何かいいことあった？
何かあったのかな？	どうしたら良かったんだっけ？	教えてくれる？

ネガティブなワード　ネガティブな精神風土　ネガティブなオーラ　陰なるもの　鬱なるもの

なんで〇〇したの？	なんで〇〇しなかったの？	〇〇してはダメ それはむずかしい
〇〇が問題	それはムリ	きちっと
どうせ	だって	でも
きちんと	ちゃんと	むり
ほらね	やっぱり	しかたない
〇〇しないと	〇〇しなきゃ	〇〇(お姉さん・お兄ちゃん)は〇〇だったのには
しょうがない	〇〇くんに比べると	
ため息	めんどう	ちぇっ
ああ～あ	普通	あたりまえ

「明蓬館高等学校 SNEC 作成」

「絶対にやらせること」と「無理させないこと」の違い

絶対にやらせることは「大人になってやること」 無理させないことは「大人になってやらないこと」

実は学校というのは「大人になってやらないこと」を結構多くやらせるところなのです。「三角食べ」「リコーダー」「大縄跳び」「合唱」「前にならえ」等々。そもそも大人になってやらないことを、何回もやり直しさせてやらせるわけです。発達に凹凸のある子どもは、それが大嫌いな傾向が強いんです。でも、学校の先生はこう言います。「今しかやれないことだからやらせる」

保護者の皆さん、もう一度子どもを叱る前に考えてほしい。それは「大人になってもやることですか？」と。大人になってもやることなら、しっかりやらせる。子どもにとっても理屈が通る話です。私たち大人はメリハリをつけて子どもを指導しなければならないと思うんです。「先生は何をやっても叱る」「ママは何をやっても叱る」と子どもが泣くので、よくよく聞いてみると本当にその通りなんですね。

つまり、ガミガミお母さん、ガミガミ先生にならないようにするために、「これとこれについては叱ると」と決めて指導することが重要です。「無理させないこと」とは大人になってやらないこと。「絶対にやらせること」は本人が嫌がっても大人になったらやらなければならいけないことです。

たとえば、お風呂に入る、お金を払う、挨拶をする（挨拶がダメなら会釈をする）、マスクをする、服は毎日着替えるなどしっかり教えていってあげてください。

＜参考文献：「特別支援が必要な子どもの『就労』『進学』『進路』相談室」：山内康彦＞